

2・3面 東京都労働委員会
労働者委員対談!
新春クロスワードパズル
4面 第26回ベストショットコンクール

自治労東京

千代田区飯田橋3丁目9番3号
SKプラザ4階
電話 03-3556-3755
自治労東京都本部 発行
企画 総務局
責任者 松村 誠治
編集者 須崎 崇文
1部10円(但し組合員は組合費に含む)

あけましておめでとうございます



「人生」
立川市職員労働組合 渡辺 美穂さん
一般部門 繋がり
(選評は4面に掲載)

新年のごあいさつ



自治労東京都本部
中央執行委員長

松村 誠治

平和と民主主義を守り、
働くもの・生活者に寄り添う政治へ！

新年あけましておめでとうございます。旧年中のご支援・ご協力に心から感謝申し上げますとともに、住民のいのちと暮らしを守るため、日々、ご奮闘いただいている組合員の皆さまに心から感謝と敬意を表します。

2023賃金確定闘争では、物価高騰により実質賃金のマイナスが続き、組合員の生活が苦しくなる中で、すべての世代での賃上げを勝ち取ることができました。しかしながらその内容は、30年ぶりの高水準という民間春闘の結果が全く反映されず、とりわけ、中高年齢職員においては、低率・低額の改定にとどまり、更なる賃上げが必要です。

日本経済は、長く苦しんだデフレから完全に脱却できるかどうかの岐路にあります。今こそ、賃上げが消費を活性化し物価と賃金が安定的に上昇する好循環につなげなければなりません。その成否を左右する2024春闘では、民間の仲間のみならずとも連帯し、継続的な賃上げを求めていきましょう。

政治情勢は、与党自民党の一強体制が続く中、安全保障関連法や防衛力の増強など、戦後日本が培ってきた専守防衛の原則から外れ、政権の独断により実質的に戦争ができる国へと体制の整備が、着々と進められています。そうした現政権の暴走を止め、働くもの・生活者に寄り添う政治へと転換させる必要があります。また、自治体の在り方や政策、更には公務員の賃金労働条件は、すべてが政治の場で決まってしまう以上、私たちは政治に無関係であることはできません。

2025年に予定されている第27回参議院議員選挙にむけては、現在も国会で奮闘している「岸まきこ」参議院議員を、再び国政の場へ送り出し、公共サービスの現場最前線で働く私たちの声を国政の場に届け、政策に反映させることが重要です。岸まきこさんの必勝をめざし、ともにたたかいて進めましょう。

本年も、組合員の皆さんとともに、賃金労働条件の改善、平和と民主主義を守り、共生社会の実現へむけて、全力で奮闘していく決意を表明して、新年のあいさつとさせていただきます。

新春特別対談

自治労東京都本部 2024

東京都労働委員会 労働者委員対談

～東京の労働と公務職場との関係・波及する効果を考える～



自治労東京都本部書記長 笹川 勝宏 (ささがわ かつひろ)

Q1 労働委員会はどういった役割を担うのでしょうか。 青木 労使紛争が発生した場合、紛争が進展しないように、公正な立場で迅速かつ円満に解決し、安定した労使関係を図るために設置された、独立した行政機関です。公正な立場で労使課題を向う、円満に解決するというのが主たる目的です。労働委員会では労働組合法及び労働関係調整法等に基づき、労働組合と使用者との間の集団的労使紛争を簡易迅速かつ的確に解決するため、労働争議の調整(あっせん、調停、及び仲立)や不当労働行為事件の審査等を主な業務としています。紛争の種類にもよりますが、

Q2 労働者委員を担う中で見えてきた課題はありますか。 青木 「労働者の立場に立つて考える」ということが何よりも重要だと労働者委員には決定権がありません。だからこそのしつかりと話を聞き、それを正しく公益委員の議論へ繋げることが大切で、労働組合も労働者委員だからこそ言ってくれたという側面もあると思います。労働者委員としての立場をしつかりと認識して任務に臨むよう心がけていました。

Q3 労働者委員は様々な立場から委員が任命されていますが、捉え方の違いなどはありますか。 青木 労働委員会の方向性として、労働者のためにという視点があります。とにかくできるだけ「命令」ではなく、和解を前提として進めています。例えば命令によって解決したとしてもその後の労使関係がギクシャクして、働きにくくなってしまえば、意味がありません。あくまでも双方が納得して円満な労使関係が続くように、という視点においては一致しており、労働者側も柔軟に対応しているように感じています。

2024 新春 クロスワードパズル
タテ・ヨコのカギをヒントにパズルを解き、A～Gの文字をつないでできる言葉を答えてください。
タテのカギ: 1. 牛・馬・羊などを放牧する設備を備えている場所。まきば。大切なことを忘れないように書き留めておくこと。または、それを書き付けたもの。 2. 旅客を宿泊させて営業する家。旅館。 3. 世の中で起こった事から、事件。 4. みつ。 5. 英語で鶏肉のこと。 6. しましまのある馬。ゼブラ。 7. 木や竹を組んで作った囲い。 8. 国の最高権力者。君主。 9. 働くこと。骨折。労働力。 10. ある共通した性質・傾向などを持つ個々の物をひとまとめにして呼ぶこと。また、その呼び名。 11. 山野に出かけて紅葉を鑑賞すること。 12. めぐり合わせ。ラッキー。 13. 思い。気持。かねての望み。 14. 睡眠中に本当の出来事のように頭にうかぶもの。将来の希望。 15. 悲しんだり、たいへんおかしかったりして、感情が強く動かされたときに、目から出てくる液体。 16. 建物の外側の囲いや、部屋と部屋の仕切り。障害物。

今回は東京の労働課題を取り巻く状況に着目しました。2023年12月に東京都労働委員会の任期満了に伴う委員変更もあったことから、新・旧東京都労働委員会労働者委員である自治労東京選出のお二人をお招きし、対談企画を設けました。一見、労働委員会という公務職場からは少し遠い位置にあると思われる組合員のみなさんもうらっしゃるか

もしれません。しかし公務職場においては、委託先や指定管理の職場などで働く民間労働者の仲間も数多くいます。そうした仲間と連帯する自治体職員もまた無関係ではありません。様々な立場で働く仲間のことや、自らの職場の実態に照らし合わせながら、組合員の皆さんに東京都労働委員会の役割を学び、考えていただける機会になれば幸いです。



前東京都労働委員会労働者委員 青木 正男 (あおき まさお)

Q1 労働委員会はどういった役割を担うのでしょうか。 青木 労使紛争が発生した場合、紛争が進展しないように、公正な立場で迅速かつ円満に解決し、安定した労使関係を図るために設置された、独立した行政機関です。公正な立場で労使課題を向う、円満に解決するというのが主たる目的です。労働委員会では労働組合法及び労働関係調整法等に基づき、労働組合と使用者との間の集団的労使紛争を簡易迅速かつ的確に解決するため、労働争議の調整(あっせん、調停、及び仲立)や不当労働行為事件の審査等を主な業務としています。紛争の種類にもよりますが、

Q2 労働者委員を担う中で見えてきた課題はありますか。 青木 「労働者の立場に立つて考える」ということが何よりも重要だと労働者委員には決定権がありません。だからこそのしつかりと話を聞き、それを正しく公益委員の議論へ繋げることが大切で、労働組合も労働者委員だからこそ言ってくれたという側面もあると思います。労働者委員としての立場をしつかりと認識して任務に臨むよう心がけていました。

Q3 労働者委員は様々な立場から委員が任命されていますが、捉え方の違いなどはありますか。 青木 労働委員会の方向性として、労働者のためにという視点があります。とにかくできるだけ「命令」ではなく、和解を前提として進めています。例えば命令によって解決したとしてもその後の労使関係がギクシャクして、働きにくくなってしまえば、意味がありません。あくまでも双方が納得して円満な労使関係が続くように、という視点においては一致しており、労働者側も柔軟に対応しているように感じています。

※1 プラットフォームワーク：オンライン上のプラットフォーム(共通の土台となる環境)を介して発注者に対して労務の提供を行う働き方
※2 ライドシェア：一般ドライバーが自家用車を使って有償で人を運ぶサービス



第26回 ベストショットコンクール



講評

私は写真を見るといつも悩みます。被写体を見て良い写真だなと思っているのか、写真全体から感じる言葉にならない何かに感動しているのかと。写真は記録性と表現性からできています。記録とは客観的情報(現実の再現)のことです。表現とは主観的な撮り方(イメージの作り方)のことです。写真の本質には、このような相反する面が含まれています。そして、私たちは写真作品を見る時にこの両面の間を揺れ動いている心状態になっているのです。正確に言えば、記録的要素の強い写真にも表現性はあり、表現的要素が強い写真にも記録性はあります。要するにどちらの面を画面上に強く出しているか、写真に含まれる記録性と表現性のバランスの問題です。そして、写真を見る面白さ、楽しさは、この両面を行ったり来たりする不安定な心の状態にあるのです。今回は上記のようなことを考えながら審査に臨みました。そして、写真を見る楽しさ、面白さを十分に味わいました。応募された作品の特徴として、「ネイチャー部門」は表現を意識した作品が多く、「繋がり」は記録を意識した作品が多かったです。一般的な傾向

として記録性の強い作品は、表現性の強い作品より写真の美しさに劣る傾向がありますが、そこに写る被写体や状況の背景や物語を想像しやすいです。つまり、直接写真には写らないものが含まれているということです。良い写真には目に見えるものと見えないものの両方が含まれています。皆さんも記録と表現の両面を意識しながら写真に撮り組んでみてください。今までとは異なる何かを感じとり、世界が広がるかもしれません。



●各受賞作品の選評はHPにて

写真家 鈴木 邦弘さん

雑誌を中心にフリーの写真家として活動。『自治労通信』および『世界』などにドキュメンタリー写真を発表。93年「森の人・PYGMY」で第18回伊奈信男賞を受賞。日本写真芸術専門学校主任講師。日本写真家協会(JPS)会員。



最優秀賞 選評

「人生」 渡辺 美穂さん

選評●神社での一瞬のドラマをとらえた作品です。手前にはヘルパーさんらしき人に補助されながらゆっくりと歩くご老人、そしてその奥には、新郎新婦とその左右にはおそらく二人のご両親が並んで記念写真を撮る後姿があります。長い人生の中には様々な出会いがありその中から様々な絆が生まれます。どのようないきさつでこの瞬間に出会えたのかはわかりませんが、人生の始まりと晩年の絆の姿が組み合わせられた瞬間を見事にとらえています。偶然の出会いも撮影者の実力の内です。



「困ってるドーベルマン」

調布市職員労働組合 保坂 知宏 さん

一般部門 繋がり



「秋の空」

江戸川区職員労働組合 田淵 美香 さん

ネイチャー部門



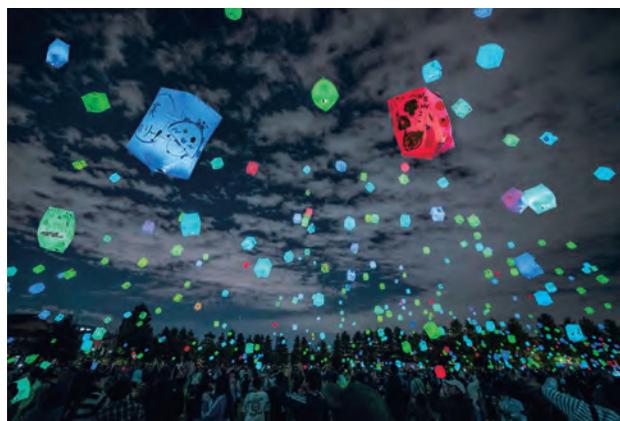
佳作 「古城と佐助(錦山城址)」
練馬区職員労働組合 小見 佳奈子さん

ネイチャー部門



佳作 「午後の憩い」
町田市職員労働組合 守屋 涼さん

一般部門 繋がり



佳作 「ねりますカイランタン」
練馬区職員労働組合 小城原 淳さん

一般部門 繋がり



特別賞 「静かな寺町で」
江戸川区職員労働組合 藤ノ木 尚子さん

ネイチャー部門